

日置町音頭できる

採用作品

森永初美さん(長行)に決定!!

町制施行十周年記念事業のひとつとして、制作を進めてきました「町民音頭」ができあがりました。

歌詞は、応募者十八名の中から「町民音頭創作委員会」で検討の結果、森永初美さん(三三歳)の作品が採用されることに決定いたしました。

なお、佳作には前田幸子さん(黄波戸)、古谷元弘さん(狩宿)のお二人の作品が選ばれました。

採用された森永さんの作品は東京北島音楽事務所(代表 北島三郎)に制作を依頼し、作曲は、「北の漁場」(北島三郎)、「港宿」(松原のぶえ)、「望郷酒場」(千昌夫)などでおなじみの桜田誠一先生が担当し、

編曲は、演歌編曲の大御所といわれる齋藤恒夫先生により、「気軽にくちずさめ、すぐに親しまれる」作品ができあがりました。

唄は、デビュー十周年を迎えた女性演歌で有名な「松原のぶえ」さんが歌っています。

出来上った「日置町音頭」は、老若男女のみなさん、誰もが親しみを持てるよう演歌調に仕上げられており、踊りも若藤栄重先生(長門市)により気軽に踊れるよう振付けてあります。

昭和四十三年に制作された「日置小唄」が「静」ならば、この「日置町音頭」は「動」といったところで、来る十月三十日の町民体育祭では、みんなで輪になり踊りましょう。



松原のぶえ

(日本コロムビア専属)

☆松原のぶえプロフィール☆

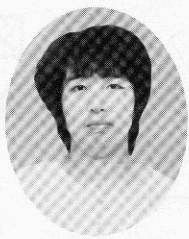
本名 廣原 伸恵
 生年月日 昭和36年7月18日
 出身地 大分県下毛郡耶馬溪町
 家族 祖父・両親・兄弟
 趣味 レコード鑑賞
 好きな言葉 一期一会
 所属事務所 北島音楽事務所
 尊敬する人 北島三郎
 デビュー 昭和54年7月1日
 「おんなの出船」
 (レコード大賞新人賞)
 主な作品 演歌みち、なみだの棧橋
 男なら (10周年記念曲)

吹き込み後の松原のぶえと握手を交わす町長



採用された森永さんの作品は、日置町の四季の変化を主体に、二位ヶ浜、千畳敷など町内の名勝地がうまく歌い込まれていて、本町に嫁がれて九年目とは思えないほどの力作です。

森永さんは、「日唄、家事をしながら頭に浮かんだ詩をメモしていました。歌詩募集の知らせを聞いてまとめてみましたが、まさか選ばれるとは思いませんでした」とたいへん感激されていました。



森永初美さん

日置町音頭

唄 松原のぶえ
 作曲 桜田誠一

一、春は菜の花 やさしくゆれてヨ

二位ヶ浜には 光る波
 集う若人 千畳敷は
 もえる若葉の 歌になる

※みんなのふるさと

ソレヨイヨイ ヨイトナ
 日置町音頭で 日置町音頭で
 みな踊れヨ

二、夏は浜ゆう 陽ざしをあびてヨ

暮れりや漁り火 沖に咲く
 眠り重ねた この龍宮は
 北の長門の 宝物

※ 以下一番に同じ

三、秋は黄金の 瑞穂のいらかヨ

どんと広がる 日置平野
 富める大地に 自然の恵み
 ここはおいしい 米どころ

※ 以下一番に同じ

四、冬は梅の香 漂う煙りヨ

黄波戸温泉 見において
 生きたさかなに 地酒を添えて
 今日もあなたを 待っている

※ 以下一番に同じ

五、春夏秋冬 吹く松風をヨ

受けて豊年 町づくり
 日本海から 大漁旗が
 明日に向えと ゆれている

※ 以下一番に同じ